

岡山県の景気観測調査

(令和2年1～3月期実績)

令和2年4月27日

岡山県商工会議所連合会

- 1. 調査方法** FAXによるアンケート
- 2. 調査内容** 景況のほか、生産額・売上額など10項目
①令和2年1～3月期を前年同期と比較
②令和2年4～6月期の先行き見通しを令和2年1～3月期と比較
- 3. 調査時期** 3月下旬
- 4. 調査対象** 県下商工会議所会員企業577社
- 5. 有効回答数** 541社 (回収率93.8%)
- | | | | | |
|-------|------|------------|-----------|------------|
| 製造業 | 185社 | 食料品28社 | 繊維関連33社 | 紙・印刷・出版22社 |
| | | 機械金属34社 | 電気・精密機械9社 | 鉱業・窯業・土石9社 |
| | | 輸送用機械器具12社 | その他38社 | |
| 建設業 | 83社 | | | |
| 卸売業 | 70社 | | | |
| 小売業 | 93社 | | | |
| サービス業 | 110社 | | | |
- 6. 調査開始時期** 平成10年12月

7. DI(ディフュージョン・インデックス)方式

DIは各調査項目について判断の状況を示す。
ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。
 $DI = (\text{増加・好転など「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化など「悪い」の回答割合})$

8. 問い合わせ先

岡山県商工会議所連合会 TEL(086)232-2262

岡山商工会議所	事業推進部	TEL(086)232-2262
倉敷商工会議所	産業振興課	TEL(086)424-2111
玉島商工会議所	総務課	TEL(086)526-0131
児島商工会議所	総務課	TEL(086)472-4450
津山商工会議所	経営支援課	TEL(0868)22-3141
玉野商工会議所	中小企業相談所	TEL(0863)33-5010
笠岡商工会議所	指導課	TEL(0865)63-1151
井原商工会議所	業務課	TEL(0866)62-0420
備前商工会議所	経営支援部	TEL(0869)64-2885
高梁商工会議所	総務企画課	TEL(0866)22-2091
総社商工会議所	業務課	TEL(0866)92-1122
新見商工会議所	指導課	TEL(0867)72-2139

令和2年1～3月期「景況概要」

「景況DIは過去最大の悪化幅を記録。新型コロナウイルスの感染拡大により先行き不安広がる」

景況全体では、DI値が▲32.0と前期(▲12.0)と比べ、20.0ポイントマイナス幅が拡大し、過去最大の悪化幅を記録し、3期連続の悪化となった。すべての業種において悪化したが、特に製造業、卸売業、サービス業で大きく悪化した。項目別に見ると、原材料・商品仕入価格を除くすべての項目でDI値が悪化、生産額・売上額、受注額、資金繰り、採算(収益)の4項目については、過去最大の悪化幅となった。今期は新型コロナウイルスの流行が景況の押し下げ要因となったが、国内外ともに感染拡大の収束が見えず、先行き不透明感が全業種に広がっており、来期はさらに厳しい状況が懸念される。

1. 景況

総合DI(好転-悪化)は▲32.0と10～12月期に比べ20.0ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、建設業でプラスからマイナスへ転換、製造業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。

2. 生産額・売上額

総合DI(増加-減少)は▲40.6と10～12月期に比べ25.1ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、サービス業でプラスからマイナスへ転換、製造業、卸売業、小売業でマイナス幅が拡大した。

3. 受注額

総合DI(増加-減少)は▲33.8と10～12月期に比べ23.7ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、製造業、建設業でマイナス幅が拡大した。

4. 原材料・商品仕入価格

総合DI(下降-上昇)は▲13.1と10～12月期に比べ15.4ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

5. 製品・商品販売価格

総合DI(上昇-下降)は0.0と10～12月期に比べ6.4ポイント悪化しプラスからプラスマイナスゼロへ転換した。

業種別では、製造業でプラスマイナスゼロからプラスへ転換した。しかし、サービス業ではプラス幅が縮小、卸売業、小売業ではプラスからマイナスへ転換した。

6. 製品在庫・商品在庫

総合DI(減少-増加)は4.7と10～12月期に比べ2.0ポイントプラス幅が縮小した。業種別では、卸売業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業、小売業でプラス幅が縮小、サービス業でプラスからマイナスへ転換となった。

7. 資金繰り

総合DI(好転-悪化)は▲21.2と10～12月期に比べ10.8ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。

8. 採算(収益)

総合DI(好転-悪化)は▲35.1と10～12月期に比べ16.7ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。

9. 従業員(常用)

総合DI(不足-過剰)は24.2と10～12月期に比べ3.7ポイントプラス幅が縮小した。業種別では、卸売業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業、建設業、小売業、サービス業ではプラス幅が縮小した。

10. 従業員(臨時)

総合DI(不足-過剰)は14.7と10～12月期に比べ6.8ポイントプラス幅が縮小した。業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でプラス幅が縮小した。

1. 景況

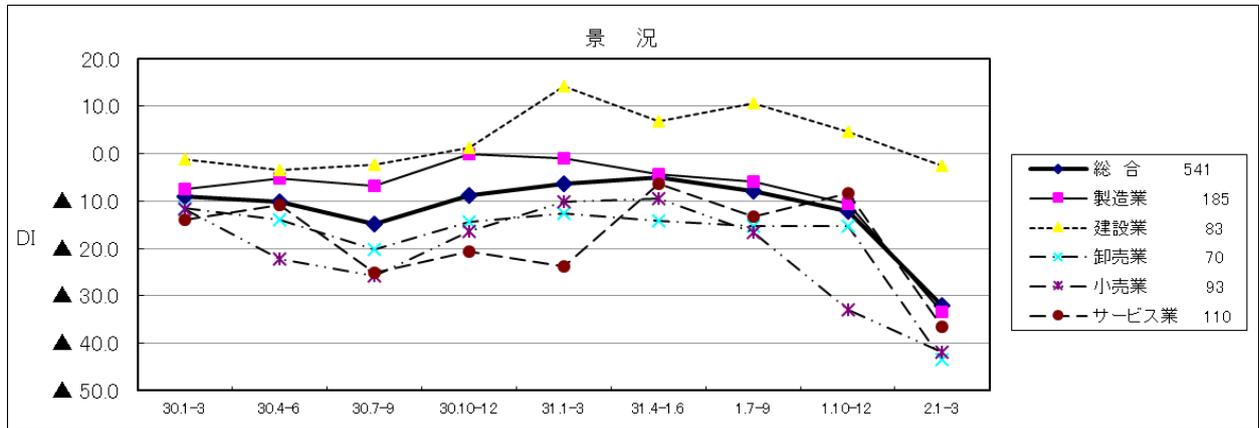
(1) 全体

総合DI（好転→悪化）は▲32.0と10～12月期に比べ20.0ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、建設業でプラスからマイナスへ転換、製造業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。

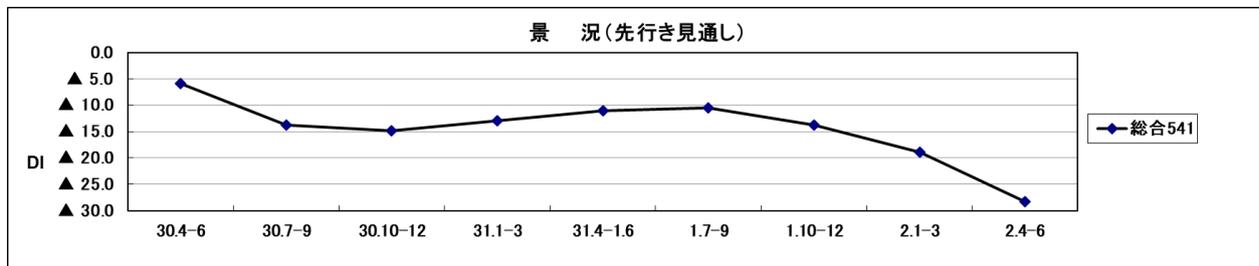
令和2年4～6月期の先行き見通し総合DIは▲28.3（前回調査時の先行き見通し総合DI▲18.9）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

景況		30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	541	▲9.1	▲10.1	▲14.8	▲8.7	▲6.3	▲5.1	▲7.9	▲12.0	▲32.0
製造業	185	▲7.5	▲5.3	▲6.8	0.0	▲1.1	▲4.3	▲5.9	▲10.5	▲33.3
建設業	83	▲1.2	▲3.5	▲2.4	1.2	14.1	6.9	10.6	4.6	▲2.5
卸売業	70	▲11.4	▲13.9	▲20.3	▲14.3	▲12.5	▲14.1	▲15.3	▲15.3	▲43.5
小売業	93	▲11.7	▲22.1	▲25.8	▲16.3	▲10.2	▲9.6	▲16.7	▲33.0	▲41.8
サービス業	110	▲13.9	▲10.7	▲25.0	▲20.7	▲23.9	▲6.4	▲13.3	▲8.3	▲36.4



<参考> 先行き見通し

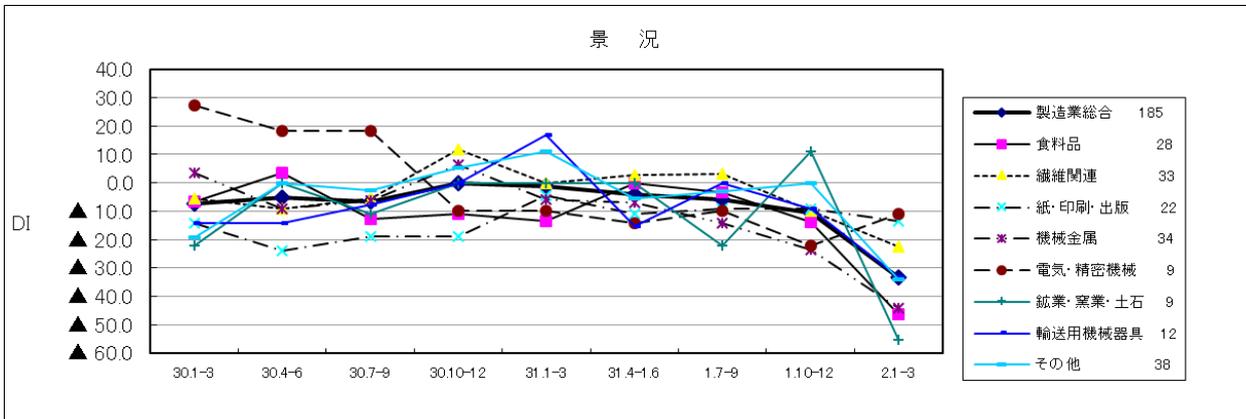
先行き見通し		30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6
総合	541	▲5.9	▲13.8	▲14.8	▲12.9	▲11.0	▲10.6	▲13.8	▲18.9	▲28.3



(2) 製造業の内訳

電気・精密機械ではマイナス幅が縮小した。しかし、鉱業・窯業・土石ではプラスからマイナスへ転換、その他ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、食料品、繊維関連、紙・印刷・出版、機械金属、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

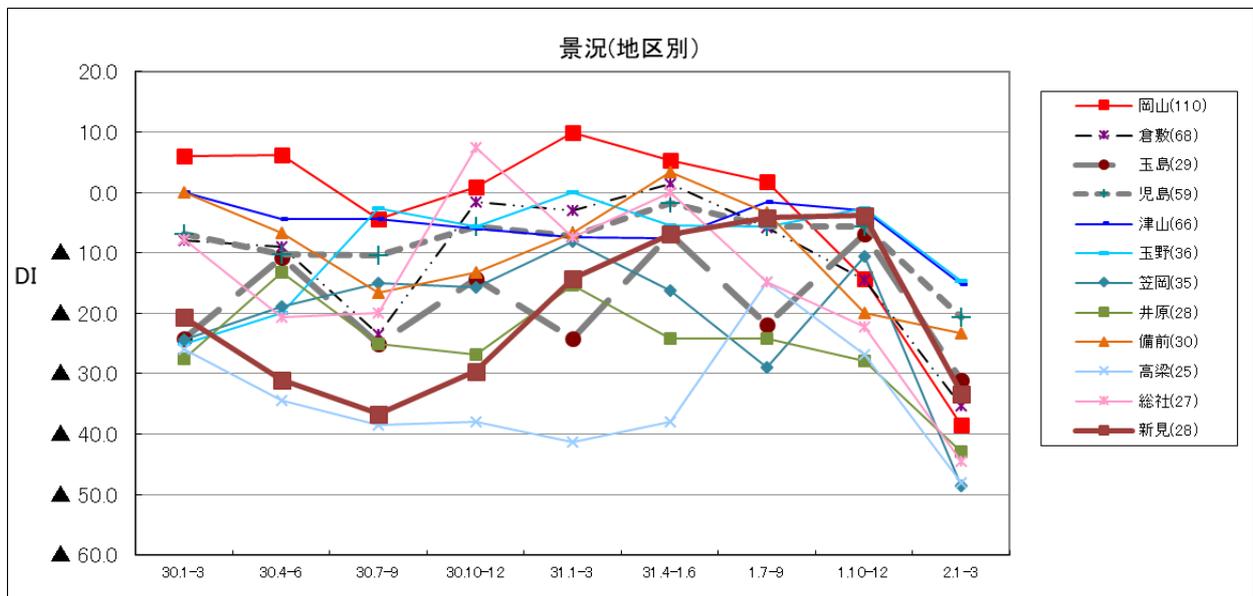
景況		30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
製造業総合	185	▲ 7.5	▲ 5.3	▲ 6.8	0.0	▲ 1.1	▲ 4.3	▲ 5.9	▲ 10.5	▲ 33.3
食料品	28	▲ 6.7	3.4	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 13.3	0.0	▲ 3.4	▲ 13.8	▲ 46.4
繊維関連	33	▲ 5.7	▲ 9.1	▲ 5.6	11.8	0.0	2.9	3.0	▲ 10.0	▲ 22.6
紙・印刷・出版	22	▲ 14.3	▲ 23.8	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 4.5	▲ 11.1	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 13.6
機械金属	34	3.3	▲ 9.1	▲ 6.3	6.5	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 14.3	▲ 23.5	▲ 44.1
電気・精密機械	9	27.3	18.2	18.2	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 22.2	▲ 11.1
鉱業・窯業・土石	9	▲ 22.2	0.0	▲ 11.1	0.0	0.0	0.0	▲ 22.2	11.1	▲ 55.6
輸送用機械器具	12	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 7.7	0.0	16.7	▲ 15.4	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3
その他	38	▲ 19.4	0.0	▲ 2.6	5.4	11.1	▲ 5.6	▲ 2.9	0.0	▲ 34.2



<参考>地区別

12 のすべての地区(岡山、倉敷、玉島、児島、津山、玉野、笠岡、井原、備前、高梁、総社、新見)において、マイナス幅が拡大した。

景況(地区別)	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
岡山(110)	5.9	6.2	▲ 4.3	0.9	9.9	5.4	1.7	▲ 14.3	▲ 38.5
倉敷(68)	▲ 7.9	▲ 9.0	▲ 23.4	▲ 1.6	▲ 3.1	1.4	▲ 5.8	▲ 14.5	▲ 35.3
玉島(29)	▲ 24.1	▲ 10.7	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 24.1	▲ 6.9	▲ 21.9	▲ 6.9	▲ 31.0
児島(59)	▲ 6.9	▲ 10.2	▲ 10.3	▲ 5.7	▲ 7.3	▲ 1.8	▲ 5.7	▲ 5.7	▲ 20.8
津山(66)	0.0	▲ 4.5	▲ 4.5	▲ 6.0	▲ 7.5	▲ 7.6	▲ 1.5	▲ 3.0	▲ 15.2
玉野(36)	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 2.6	▲ 5.7	0.0	▲ 5.4	▲ 5.7	▲ 2.6	▲ 14.7
笠岡(35)	▲ 24.3	▲ 18.9	▲ 15.0	▲ 15.8	▲ 8.1	▲ 16.2	▲ 28.9	▲ 10.5	▲ 48.6
井原(28)	▲ 27.6	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 24.1	▲ 24.1	▲ 28.0	▲ 42.9
備前(30)	0.0	▲ 6.7	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 6.7	3.3	▲ 3.3	▲ 20.0	▲ 23.3
高梁(25)	▲ 25.9	▲ 34.5	▲ 38.5	▲ 37.9	▲ 41.4	▲ 37.9	▲ 14.8	▲ 26.9	▲ 48.0
総社(27)	▲ 7.7	▲ 20.7	▲ 20.0	7.4	▲ 7.4	0.0	▲ 14.8	▲ 22.2	▲ 44.4
新見(28)	▲ 20.7	▲ 31.0	▲ 36.7	▲ 29.6	▲ 14.3	▲ 6.9	▲ 4.2	▲ 3.8	▲ 33.3



2. 生産額・売上額

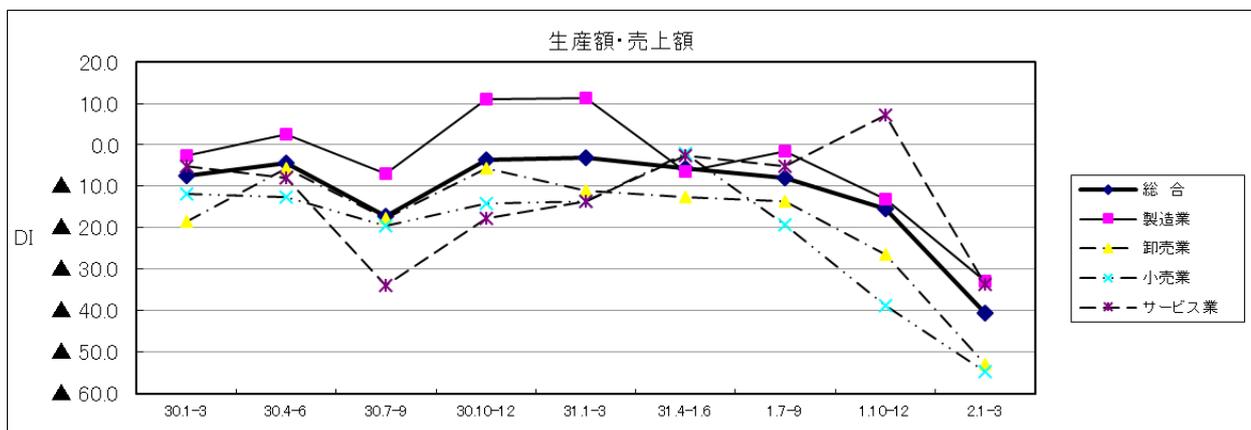
(1) 全体

総合DI（増加-減少）は▲40.6と10～12月期に比べ25.1ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、サービス業でプラスからマイナスへ転換、製造業、卸売業、小売業でマイナス幅が拡大した。

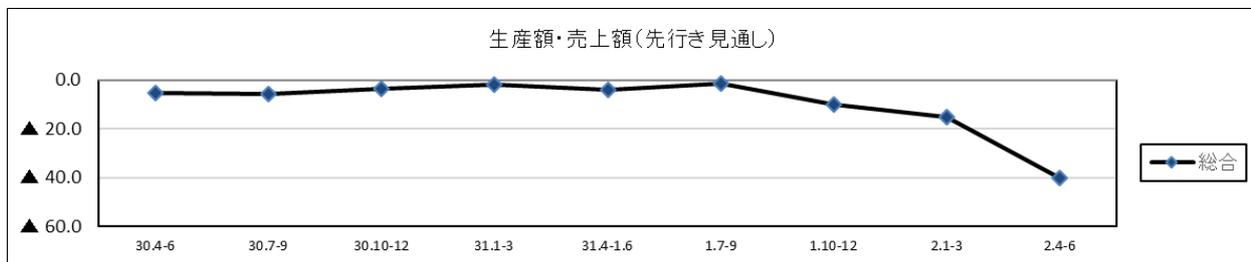
令和2年4～6月期の先行き見通し総合DIは▲40.3（前回▲15.2）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

生産額・売上額	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	▲7.5	▲4.3	▲17.2	▲3.7	▲3.1	▲5.6	▲7.9	▲15.5	▲40.6
製造業	▲2.7	2.6	▲6.8	10.9	11.2	▲6.3	▲1.6	▲13.1	▲32.8
卸売業	▲18.6	▲5.6	▲17.6	▲5.6	▲11.0	▲12.5	▲13.7	▲26.4	▲52.9
小売業	▲11.8	▲12.5	▲19.6	▲14.1	▲13.6	▲2.1	▲19.4	▲38.7	▲54.8
サービス業	▲5.2	▲8.0	▲34.0	▲17.9	▲13.5	▲2.7	▲5.3	7.2	▲33.6



<参考> 先行き見通し

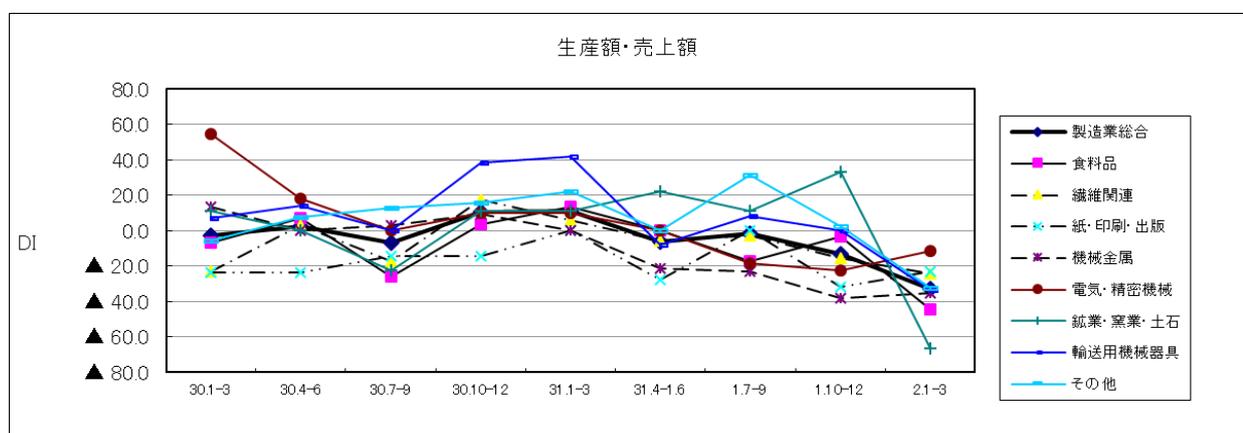
先行き見通し	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6
総合	▲5.2	▲5.6	▲3.7	▲2.0	▲4.0	▲1.3	▲9.9	▲15.2	▲40.3



(2) 製造業の内訳

紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械ではマイナス幅が縮小した。しかし、鉱業・窯業・土石、その他ではプラスからマイナスへ転換、輸送用機械器具ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、食料品、繊維関連ではマイナス幅が拡大した。

生産額・売上額	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
製造業総合	▲ 2.7	2.6	▲ 6.8	10.9	11.2	▲ 6.3	▲ 1.6	▲ 13.1	▲ 32.8
食料品	▲ 6.7	6.9	▲ 25.8	3.7	13.3	0.0	▲ 17.2	▲ 3.4	▲ 44.4
繊維関連	▲ 22.9	2.9	▲ 17.1	17.6	5.9	▲ 5.6	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 24.2
紙・印刷・出版	▲ 23.8	▲ 23.8	▲ 14.3	▲ 14.3	0.0	▲ 27.8	0.0	▲ 31.8	▲ 22.7
機械金属	13.3	0.0	3.1	9.7	0.0	▲ 21.4	▲ 22.9	▲ 38.2	▲ 35.3
電気・精密機械	54.5	18.2	0.0	10.0	10.0	0.0	▲ 18.2	▲ 22.2	▲ 11.1
鉱業・窯業・土石	11.1	0.0	▲ 22.2	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	▲ 66.7
輸送用機械器具	7.1	14.3	0.0	38.5	41.7	▲ 7.7	8.3	0.0	▲ 33.3
その他	▲ 5.6	7.9	13.2	15.8	22.2	0.0	31.4	2.7	▲ 32.4



3. 受注額

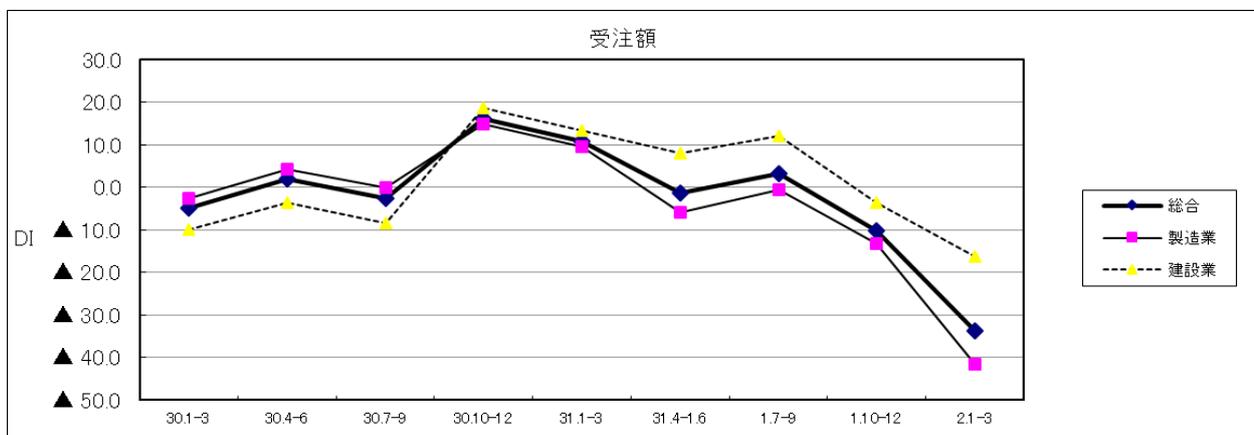
(1) 全体

総合DI（増加－減少）は▲33.8と10～12月期に比べ23.7ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、製造業、建設業でマイナス幅が拡大した。

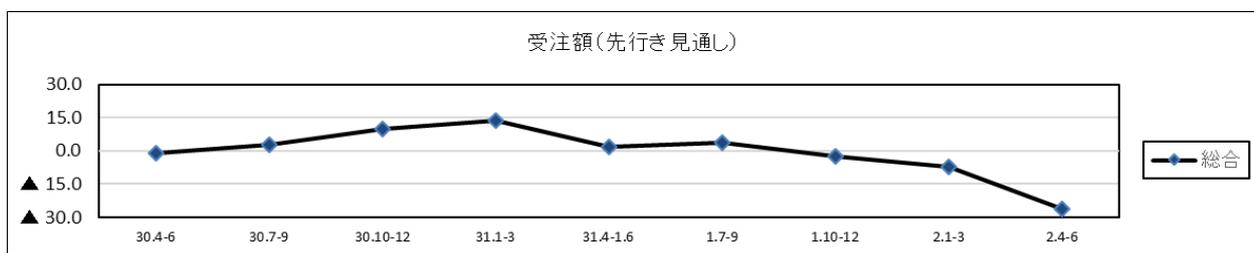
令和2年4～6月期の先行き見通し総合DIは▲26.1（前回▲7.4）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

受注額	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	▲4.9	1.8	▲2.6	16.0	10.7	▲1.4	3.3	▲10.1	▲33.8
製造業	▲2.7	4.2	0.0	14.8	9.6	▲5.8	▲0.5	▲13.1	▲41.5
建設業	▲9.9	▲3.6	▲8.5	18.6	13.3	8.0	12.0	▲3.6	▲16.3



<参考> 先行き見通し

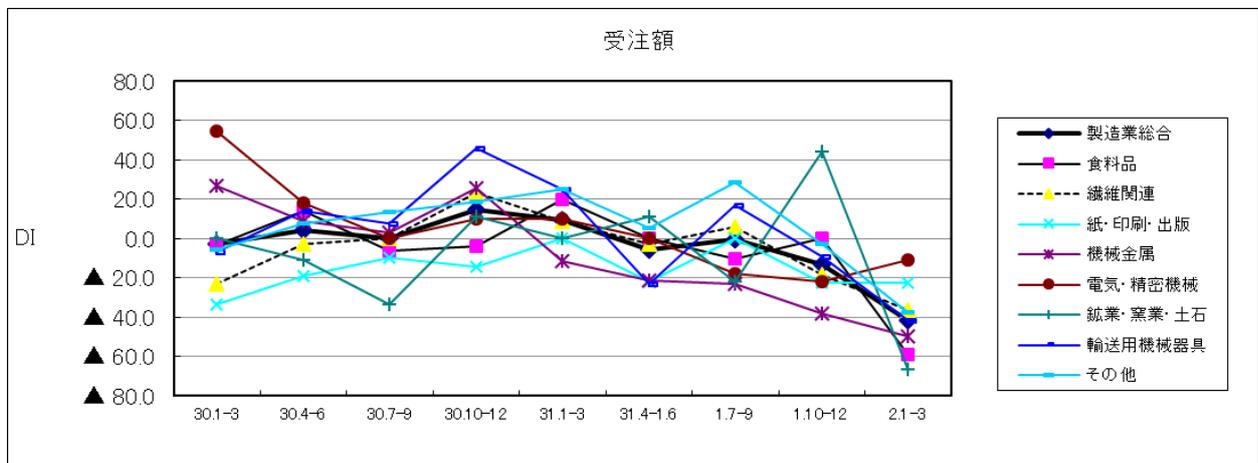
先行き見通し	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6
総合	▲1.1	2.6	9.7	13.4	1.9	3.7	▲2.6	▲7.4	▲26.1



(2) 製造業の内訳

電気・精密機械ではマイナス幅が縮小、紙・印刷・出版ではマイナスで横ばいとなった。しかし、鉱業・窯業・土石ではプラスからマイナスへ転換、食料品ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、繊維関連、機械金属、輸送用機械器具、その他ではマイナス幅が拡大した。

受注額	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
製造業総合	▲ 2.7	4.2	0.0	14.8	9.6	▲ 5.8	▲ 0.5	▲ 13.1	▲ 41.5
食料品	▲ 3.3	13.8	▲ 6.5	▲ 3.7	20.0	0.0	▲ 10.3	0.0	▲ 59.3
繊維関連	▲ 22.9	▲ 2.9	0.0	23.5	8.8	▲ 2.8	5.7	▲ 18.8	▲ 36.4
紙・印刷・出版	▲ 33.3	▲ 19.0	▲ 9.5	▲ 14.3	0.0	▲ 22.2	0.0	▲ 22.7	▲ 22.7
機械金属	26.7	8.8	3.1	25.8	▲ 11.8	▲ 21.4	▲ 22.9	▲ 38.2	▲ 50.0
電気・精密機械	54.5	18.2	0.0	10.0	10.0	0.0	▲ 18.2	▲ 22.2	▲ 11.1
鉱業・窯業・土石	0.0	▲ 11.1	▲ 33.3	11.1	0.0	11.1	▲ 22.2	44.4	▲ 66.7
輸送用機械器具	▲ 7.1	14.3	7.7	46.2	25.0	▲ 23.1	16.7	▲ 9.1	▲ 41.7
その他	▲ 5.6	7.9	13.2	18.4	25.0	5.6	28.6	▲ 2.7	▲ 37.8



4. 原材料・商品仕入価格

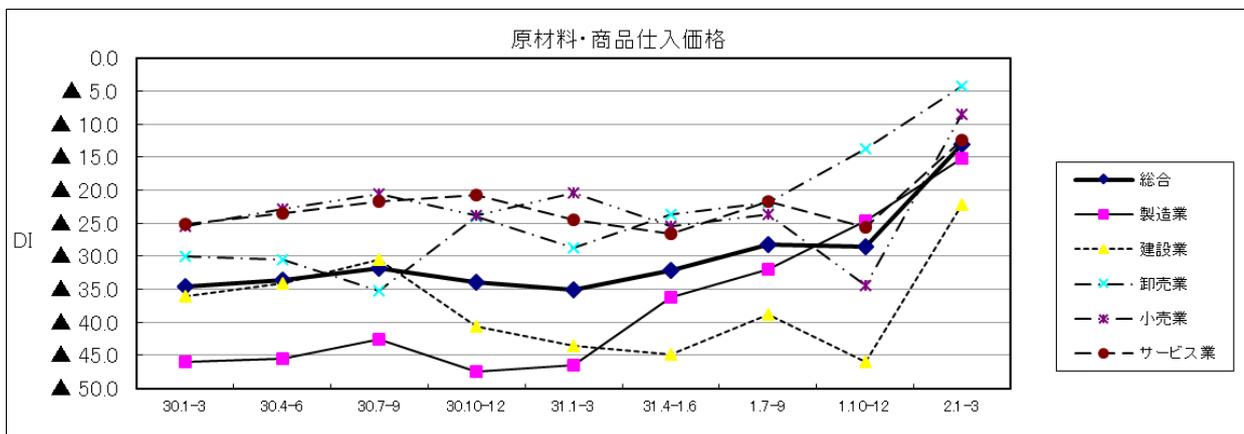
(1) 全体

総合DI（下降－上昇）は▲13.1と10～12月期に比べ15.4ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

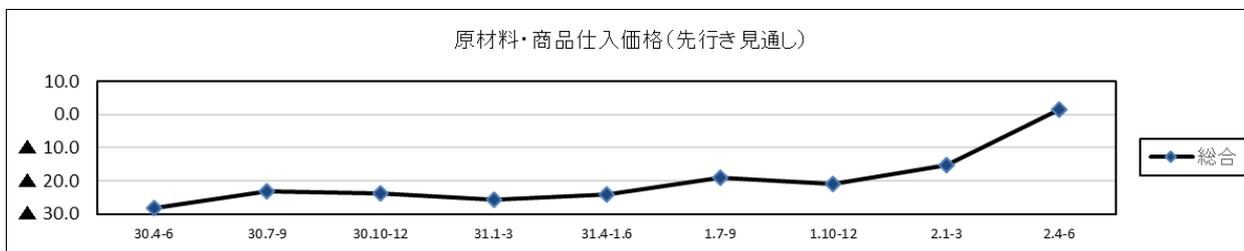
令和2年4～6月期の先行き見通し総合DIは1.5（前回▲15.4）となり、マイナスからプラスへ転換する見通し。

原材料・商品仕入価格	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	▲ 34.6	▲ 33.6	▲ 31.9	▲ 34.0	▲ 35.0	▲ 32.2	▲ 28.3	▲ 28.5	▲ 13.1
製造業	▲ 45.9	▲ 45.5	▲ 42.6	▲ 47.5	▲ 46.5	▲ 36.2	▲ 31.9	▲ 24.7	▲ 15.1
建設業	▲ 36.1	▲ 34.1	▲ 30.6	▲ 40.7	▲ 43.5	▲ 44.8	▲ 38.8	▲ 46.0	▲ 22.2
卸売業	▲ 30.0	▲ 30.6	▲ 35.3	▲ 23.9	▲ 28.8	▲ 23.6	▲ 21.9	▲ 13.7	▲ 4.3
小売業	▲ 25.5	▲ 22.9	▲ 20.6	▲ 23.9	▲ 20.5	▲ 25.5	▲ 23.7	▲ 34.4	▲ 8.6
サービス業	▲ 25.2	▲ 23.6	▲ 21.7	▲ 20.8	▲ 24.5	▲ 26.7	▲ 21.7	▲ 25.7	▲ 12.4



<参考> 先行き見通し

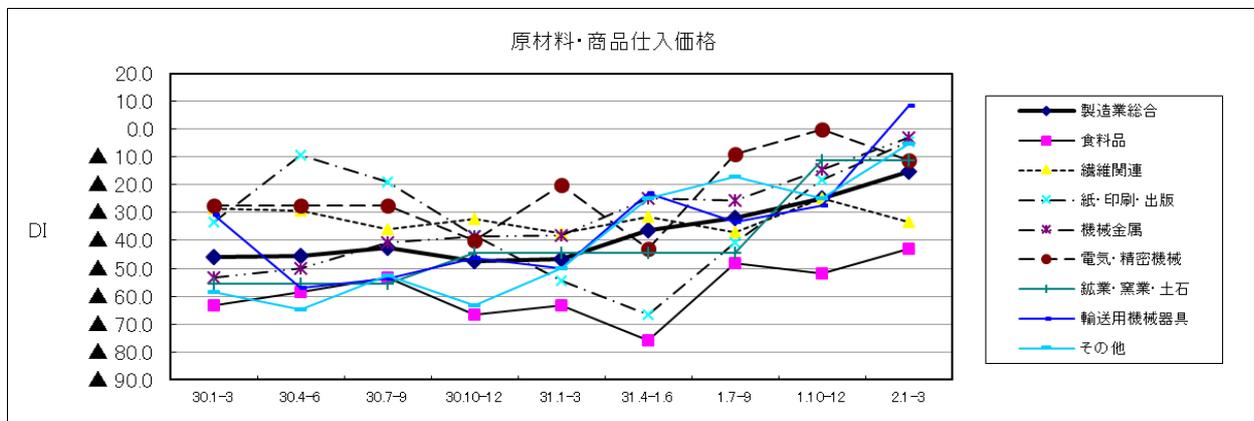
先行き見通し	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6
総合	▲ 28.2	▲ 23.1	▲ 23.9	▲ 25.7	▲ 24.2	▲ 19.0	▲ 21.0	▲ 15.4	1.5



(2) 製造業の内訳

食料品、紙・印刷・出版、機械金属、輸送用機械器具、その他ではマイナス幅が縮小、鉱業・窯業・土石ではマイナスで横ばいとなった。しかし、電気・精密機械ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、繊維関連ではマイナス幅が拡大した。

原材料・商品仕入価格	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
製造業総合	▲ 45.9	▲ 45.5	▲ 42.6	▲ 47.5	▲ 46.5	▲ 36.2	▲ 31.9	▲ 24.7	▲ 15.1
食料品	▲ 63.3	▲ 58.6	▲ 53.3	▲ 66.7	▲ 63.3	▲ 76.0	▲ 48.3	▲ 51.7	▲ 42.9
繊維関連	▲ 28.6	▲ 29.4	▲ 36.1	▲ 32.4	▲ 37.5	▲ 31.4	▲ 37.1	▲ 25.0	▲ 33.3
紙・印刷・出版	▲ 33.3	▲ 9.5	▲ 19.0	▲ 38.1	▲ 54.5	▲ 66.7	▲ 40.9	▲ 18.2	▲ 4.5
機械金属	▲ 53.3	▲ 50.0	▲ 40.6	▲ 38.7	▲ 38.2	▲ 25.0	▲ 25.7	▲ 14.7	▲ 2.9
電気・精密機械	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 42.9	▲ 9.1	0.0	▲ 11.1
鉱業・窯業・土石	▲ 55.6	▲ 55.6	▲ 55.6	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 11.1	▲ 11.1
輸送用機械器具	▲ 30.8	▲ 57.1	▲ 53.8	▲ 46.2	▲ 50.0	▲ 23.1	▲ 33.3	▲ 27.3	8.3
その他	▲ 58.3	▲ 64.9	▲ 52.6	▲ 63.2	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 17.1	▲ 25.0	▲ 5.3



5. 製品・商品販売価格

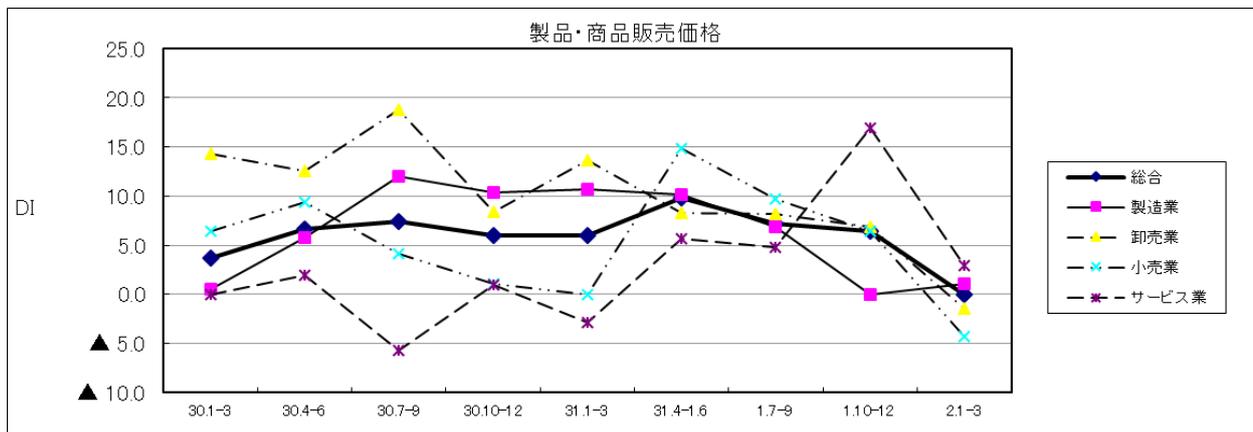
(1) 全体

総合DI（上昇ー下降）は0.0と10～12月期に比べ6.4ポイント悪化しプラスからプラスマイナスゼロへ転換した。

業種別では、製造業でプラスマイナスゼロからプラスへ転換した。しかし、サービス業ではプラス幅が縮小、卸売業、小売業ではプラスからマイナスへ転換した。

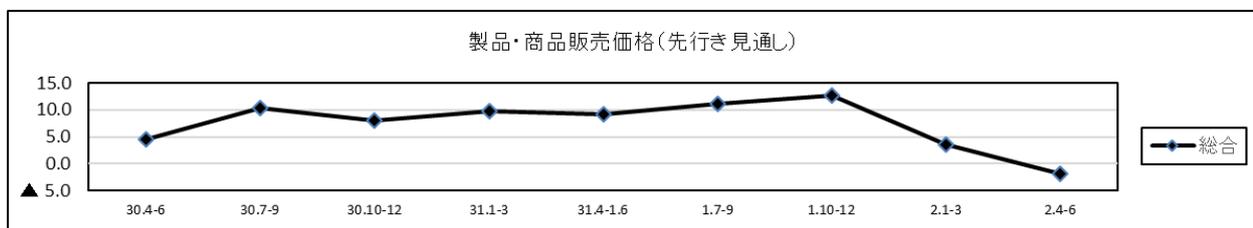
令和2年4～6月期の先行き見通し総合DIは▲1.8（前回3.6）となり、プラスからマイナスへ転換する見通し。

製品・商品販売価格	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	3.7	6.7	7.4	6.0	5.9	9.8	7.2	6.4	0.0
製造業	0.5	5.8	12.0	10.4	10.7	10.1	6.9	0.0	1.1
卸売業	14.3	12.5	18.8	8.5	13.7	8.3	8.2	6.8	▲1.4
小売業	6.4	9.4	4.1	1.1	0.0	14.9	9.7	6.5	▲4.3
サービス業	0.0	1.9	▲5.7	0.9	▲2.8	5.7	4.8	17.0	2.9



<参考> 先行き見通し

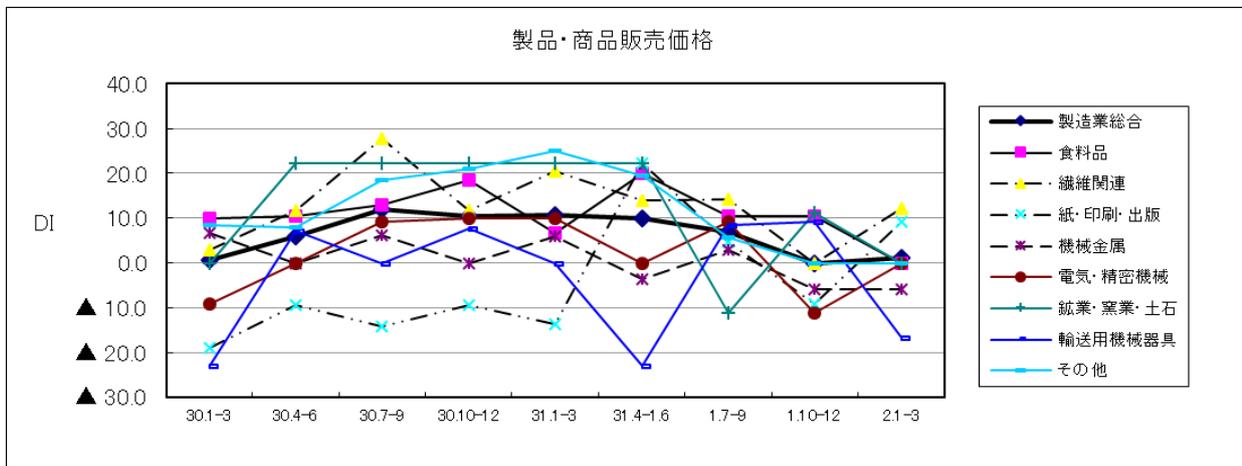
先行き見通し	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6
総合	4.6	10.3	7.9	9.7	9.2	11.2	12.7	3.6	▲1.8



(2) 製造業の内訳

繊維関連ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、紙・印刷・出版ではマイナスからプラスへ転換、電気・精密機械ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、その他ではプラスマイナスゼロで横ばい、機械金属ではマイナスで横ばいとなった。しかし、食料品、鉱業・窯業・土石ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、輸送用機械器具ではプラスからマイナスへ転換した。

製品・商品販売価格	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
製造業総合	0.5	5.8	12.0	10.4	10.7	10.1	6.9	0.0	1.1
食料品	10.0	10.3	12.9	18.5	6.7	20.0	10.3	10.3	0.0
繊維関連	2.9	11.8	27.8	11.8	20.6	13.9	14.3	0.0	12.1
紙・印刷・出版	▲ 19.0	▲ 9.5	▲ 14.3	▲ 9.5	▲ 13.6	22.2	4.5	▲ 9.1	9.1
機械金属	6.7	0.0	6.3	0.0	5.9	▲ 3.6	2.9	▲ 5.9	▲ 5.9
電気・精密機械	▲ 9.1	0.0	9.1	10.0	10.0	0.0	9.1	▲ 11.1	0.0
鉱業・窯業・土石	0.0	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	▲ 11.1	11.1	0.0
輸送用機械器具	▲ 23.1	7.1	0.0	7.7	0.0	▲ 23.1	8.3	9.1	▲ 16.7
その他	8.3	7.9	18.4	21.1	25.0	19.4	5.7	0.0	0.0



6. 製品在庫・商品在庫

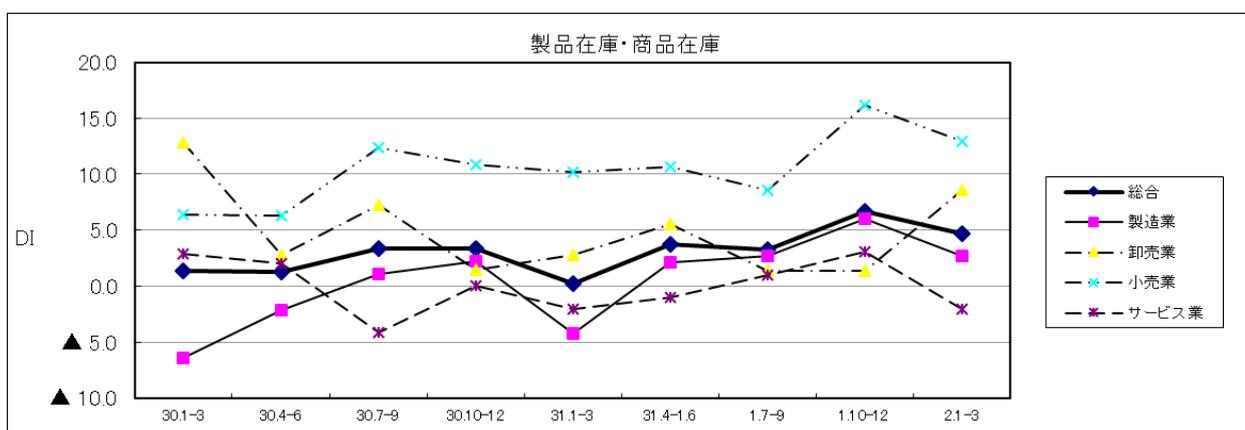
(1) 全体

総合DI（減少＝増加）は4.7と10～12月期に比べ2.0ポイントプラス幅が縮小した。

業種別では、卸売業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業、小売業でプラス幅が縮小、サービス業でプラスからマイナスへ転換となった。

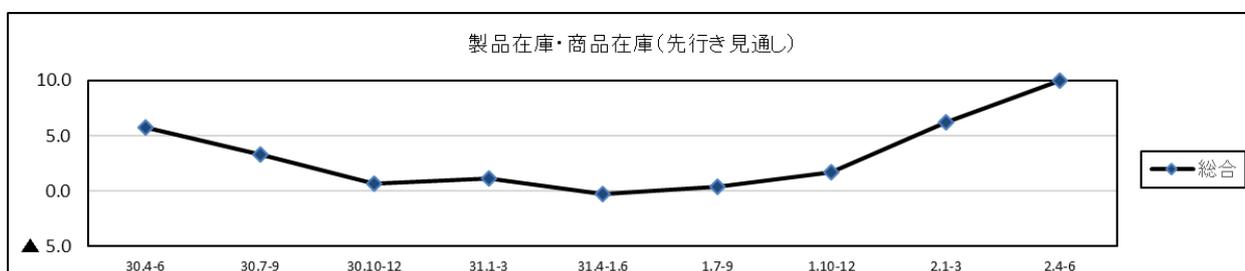
令和2年4～6月期の先行き見通し総合DIは10.0（前回6.3）となり、プラス幅が拡大する見通し。

製品在庫・商品在庫	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	1.3	1.3	3.3	3.4	0.2	3.7	3.3	6.7	4.7
製造業	▲ 6.5	▲ 2.1	1.1	2.2	▲ 4.3	2.1	2.7	6.0	2.7
卸売業	12.9	2.8	7.2	1.4	2.7	5.6	1.4	1.4	8.6
小売業	6.4	6.3	12.4	10.9	10.2	10.6	8.6	16.1	12.9
サービス業	2.9	2.0	▲ 4.1	0.0	▲ 2.0	▲ 1.0	1.0	3.0	▲ 2.0



<参考> 先行き見通し

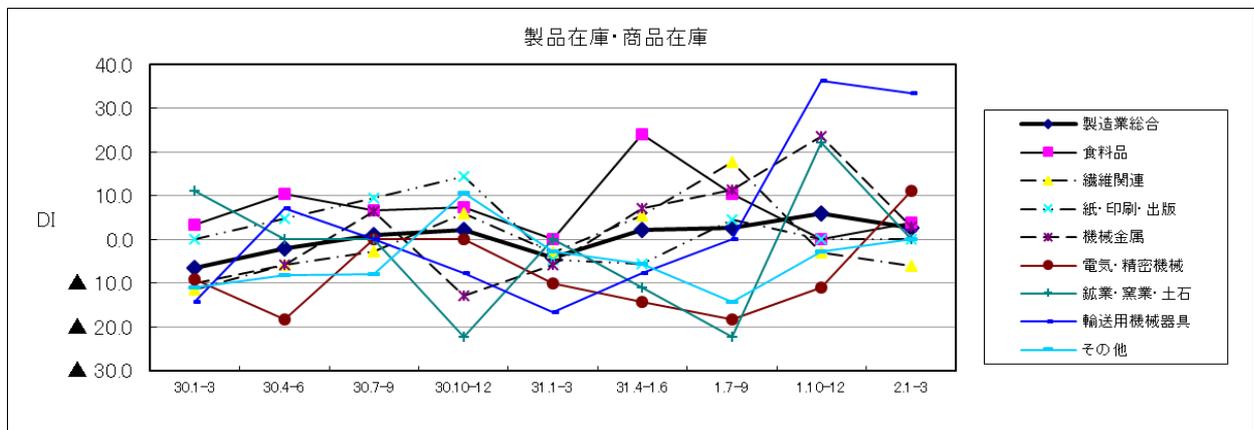
先行き見通し	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6
総合	5.7	3.3	0.7	1.1	▲ 0.2	0.4	1.8	6.3	10.0



(2) 製造業の内訳

食料品ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、電気・精密機械ではマイナスからプラスへ転換、その他ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、紙・印刷・出版ではプラスマイナスゼロで横ばいとなった。しかし、機械金属、輸送用機械器具ではプラス幅が縮小、鉱業・窯業・土石ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、繊維関連ではマイナス幅が拡大した。

製品在庫・商品在庫	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
製造業総合	▲ 6.5	▲ 2.1	1.1	2.2	▲ 4.3	2.1	2.7	6.0	2.7
食料品	3.3	10.3	6.7	7.4	0.0	24.0	10.3	0.0	3.7
繊維関連	▲ 11.4	▲ 5.9	▲ 2.9	5.9	▲ 2.9	5.6	17.6	▲ 3.1	▲ 6.1
紙・印刷・出版	0.0	4.8	9.5	14.3	▲ 4.5	▲ 5.6	4.5	0.0	0.0
機械金属	▲ 10.0	▲ 5.9	6.5	▲ 12.9	▲ 5.9	7.1	11.4	23.5	2.9
電気・精密機械	▲ 9.1	▲ 18.2	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 18.2	▲ 11.1	11.1
鉱業・窯業・土石	11.1	0.0	0.0	▲ 22.2	0.0	▲ 11.1	▲ 22.2	22.2	0.0
輸送用機械器具	▲ 14.3	7.1	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.7	0.0	36.4	33.3
その他	▲ 11.1	▲ 8.1	▲ 7.9	10.5	▲ 2.8	▲ 5.6	▲ 14.3	▲ 2.7	0.0



7. 資金繰り

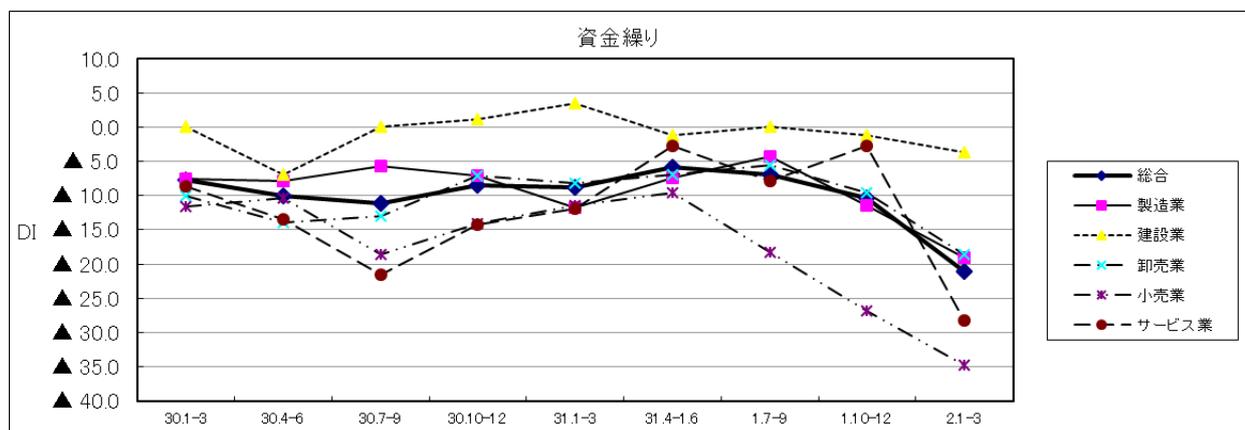
(1) 全体

総合DI（好転→悪化）は▲21.2と10～12月期に比べ10.8ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。

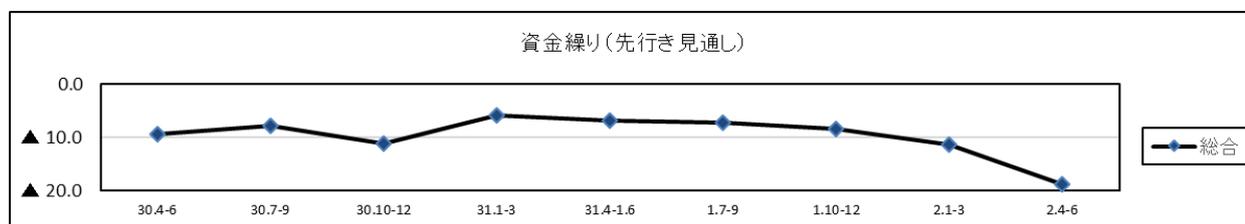
令和2年4～6月期の先行き見通し総合DIは▲18.8（前回▲11.4）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

資金繰り	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	▲7.6	▲10.1	▲11.2	▲8.4	▲8.8	▲5.8	▲6.9	▲10.4	▲21.2
製造業	▲7.5	▲7.9	▲5.8	▲7.1	▲11.8	▲7.4	▲4.3	▲11.5	▲19.0
建設業	0.0	▲7.0	0.0	1.1	3.5	▲1.1	0.0	▲1.1	▲3.6
卸売業	▲10.0	▲13.9	▲13.0	▲7.0	▲8.2	▲6.9	▲5.5	▲9.6	▲18.6
小売業	▲11.6	▲10.4	▲18.6	▲14.1	▲11.4	▲9.6	▲18.3	▲26.9	▲34.8
サービス業	▲8.7	▲13.4	▲21.6	▲14.3	▲11.9	▲2.7	▲7.9	▲2.7	▲28.2



<参考> 先行き見通し

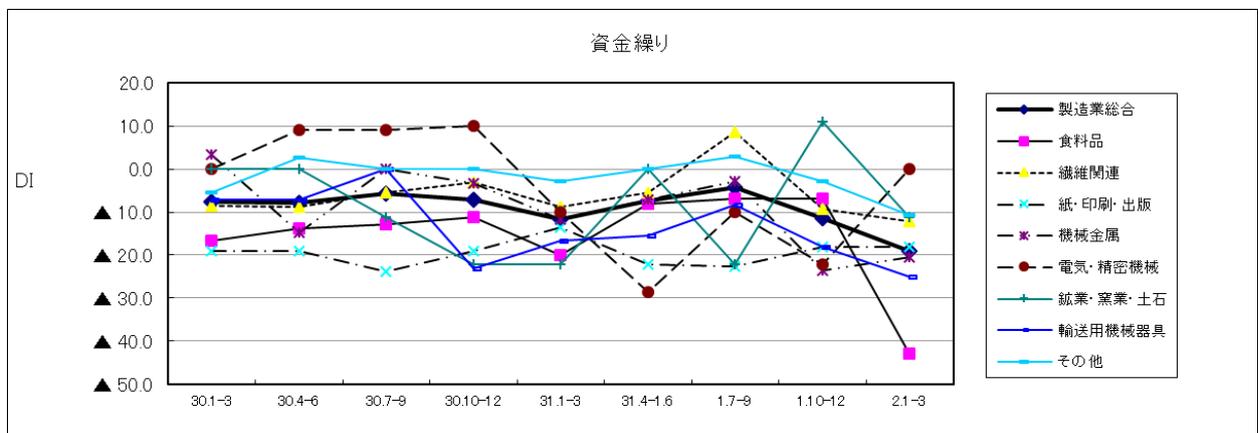
先行き見通し	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6
総合	▲9.3	▲7.9	▲11.3	▲5.8	▲6.8	▲7.2	▲8.5	▲11.4	▲18.8



(2) 製造業の内訳

電気・精密機械ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、機械金属ではマイナス幅が縮小、紙・印刷・出版ではマイナスで横ばいとなった。しかし、鉱業・窯業・土石ではプラスからマイナスへ転換、食料品、繊維関連、輸送用機械器具、その他ではマイナス幅が拡大した。

資金繰り	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
製造業総合	▲ 7.5	▲ 7.9	▲ 5.8	▲ 7.1	▲ 11.8	▲ 7.4	▲ 4.3	▲ 11.5	▲ 19.0
食料品	▲ 16.7	▲ 13.8	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 20.0	▲ 8.0	▲ 6.9	▲ 6.9	▲ 42.9
繊維関連	▲ 8.6	▲ 8.8	▲ 5.6	▲ 2.9	▲ 8.8	▲ 5.6	8.6	▲ 9.4	▲ 12.1
紙・印刷・出版	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 19.0	▲ 13.6	▲ 22.2	▲ 22.7	▲ 18.2	▲ 18.2
機械金属	3.3	▲ 14.7	0.0	▲ 3.2	▲ 11.8	▲ 7.1	▲ 2.9	▲ 23.5	▲ 20.6
電気・精密機械	0.0	9.1	9.1	10.0	▲ 10.0	▲ 28.6	▲ 10.0	▲ 22.2	0.0
鉱業・窯業・土石	0.0	0.0	▲ 11.1	▲ 22.2	▲ 22.2	0.0	▲ 22.2	11.1	▲ 11.1
輸送用機械器具	▲ 7.1	▲ 7.1	0.0	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 18.2	▲ 25.0
その他	▲ 5.6	2.6	0.0	0.0	▲ 2.8	0.0	2.9	▲ 2.7	▲ 10.8



8. 採算（収益）

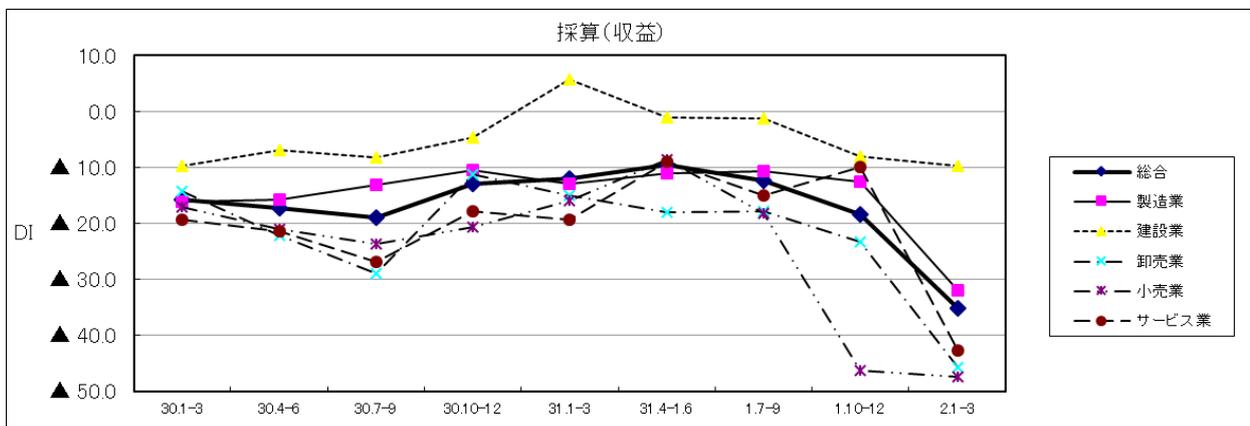
(1) 全体

総合D I（好転→悪化）は▲35.1と10～12月期に比べ16.7ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。

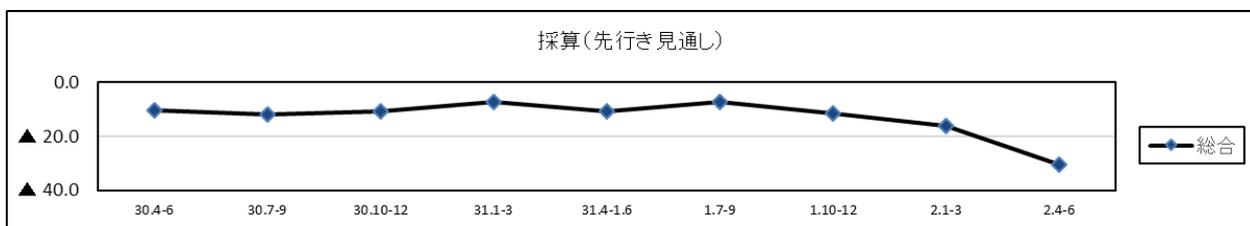
令和2年4～6月期の先行き見通し総合D Iは▲30.4（前回▲16.2）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

採算(収益)	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	▲15.7	▲17.3	▲18.9	▲12.9	▲12.0	▲9.6	▲12.3	▲18.4	▲35.1
製造業	▲16.1	▲15.8	▲13.1	▲10.4	▲12.9	▲11.1	▲10.7	▲12.6	▲31.9
建設業	▲9.6	▲7.0	▲8.1	▲4.7	5.8	▲1.1	▲1.2	▲8.0	▲9.6
卸売業	▲14.3	▲22.2	▲29.0	▲11.3	▲15.1	▲18.1	▲17.8	▲23.3	▲45.7
小売業	▲17.0	▲21.1	▲23.7	▲20.7	▲15.9	▲8.5	▲18.3	▲46.2	▲47.3
サービス業	▲19.3	▲21.4	▲26.8	▲17.9	▲19.3	▲9.0	▲14.9	▲9.9	▲42.7



<参考> 先行き見通し

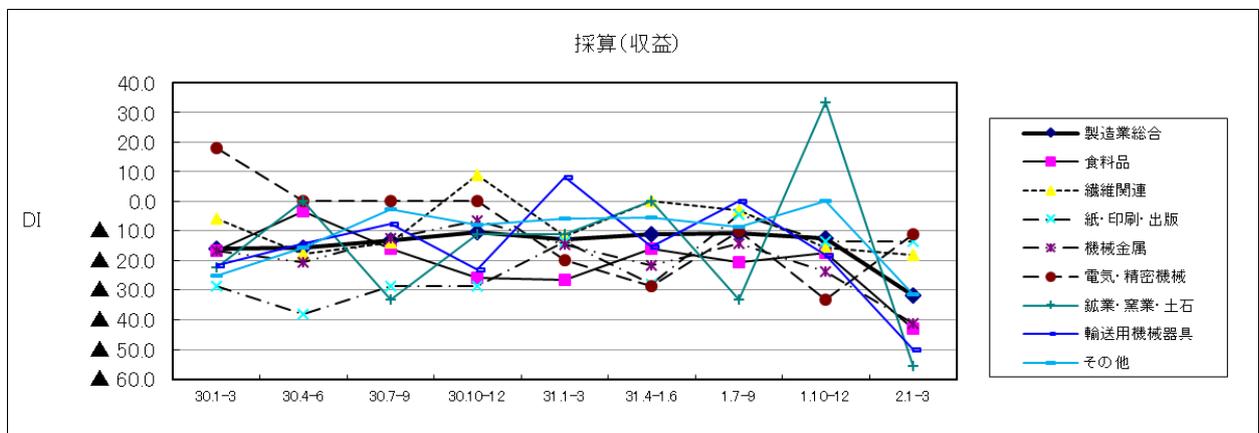
先行き見通し	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6
総合	▲10.3	▲11.7	▲10.7	▲7.2	▲10.8	▲7.3	▲11.6	▲16.2	▲30.4



(2) 製造業の内訳

電気・精密機械ではマイナス幅が縮小、紙・印刷・出版ではマイナスで横ばいとなった。しかし、鉱業・窯業・土石ではプラスからマイナスへ転換、その他ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、食料品、繊維関連、機械金属、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

採算(収益)	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
製造業総合	▲ 16.1	▲ 15.8	▲ 13.1	▲ 10.4	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 10.7	▲ 12.6	▲ 31.9
食料品	▲ 16.7	▲ 3.4	▲ 16.1	▲ 25.9	▲ 26.7	▲ 16.0	▲ 20.7	▲ 17.2	▲ 42.9
繊維関連	▲ 5.7	▲ 17.6	▲ 13.9	8.8	▲ 11.8	0.0	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 18.2
紙・印刷・出版	▲ 28.6	▲ 38.1	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 13.6	▲ 27.8	▲ 4.5	▲ 13.6	▲ 13.6
機械金属	▲ 16.7	▲ 20.6	▲ 12.5	▲ 6.5	▲ 14.7	▲ 21.4	▲ 14.3	▲ 23.5	▲ 41.2
電気・精密機械	18.2	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 10.0	▲ 33.3	▲ 11.1
鉱業・窯業・土石	▲ 22.2	0.0	▲ 33.3	▲ 11.1	▲ 11.1	0.0	▲ 33.3	33.3	▲ 55.6
輸送用機械器具	▲ 21.4	▲ 14.3	▲ 7.7	▲ 23.1	8.3	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2	▲ 50.0
その他	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 2.6	▲ 7.9	▲ 5.7	▲ 5.6	▲ 8.6	0.0	▲ 31.6



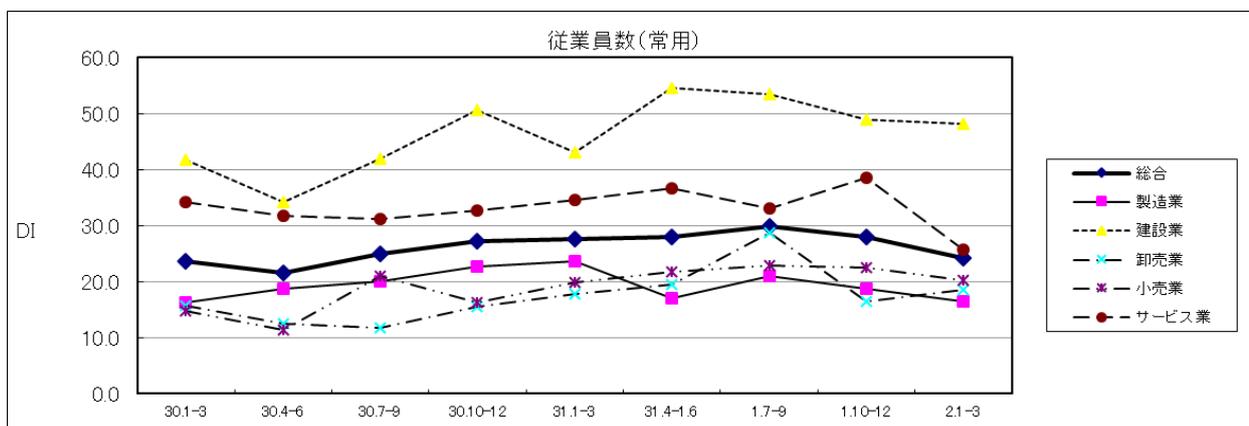
9. 従業員数（常用）

(1) 全体

総合D I（不足～過剰）は24.2と10～12月期に比べ3.7ポイントプラス幅が縮小した。業種別では、卸売業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業、建設業、小売業、サービス業ではプラス幅が縮小した。

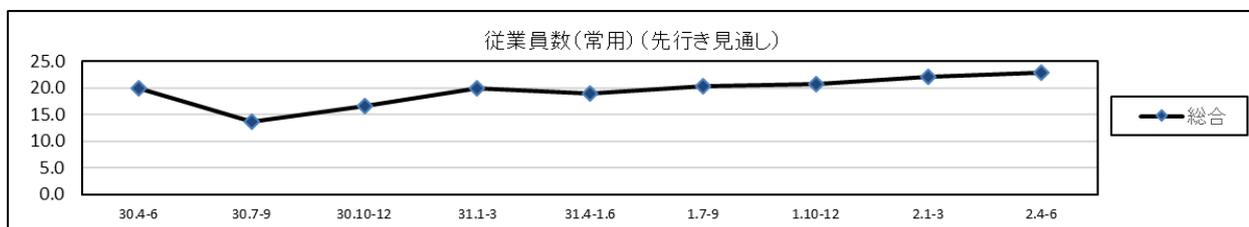
令和2年4～6月期の先行き見通し総合D Iは22.9（前回22.2）となり、プラス幅が拡大する見通し。

従業員数(常用)	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	23.6	21.6	25.0	27.2	27.5	28.1	29.9	27.9	24.2
製造業	16.3	18.7	20.0	22.7	23.7	17.0	21.0	18.7	16.4
建設業	41.7	34.1	41.9	50.6	43.0	54.5	53.5	48.9	48.2
卸売業	15.7	12.5	11.8	15.5	17.8	19.4	28.8	16.4	18.6
小売業	14.7	11.5	21.1	16.3	19.8	21.7	22.8	22.6	20.2
サービス業	34.2	31.8	31.2	32.7	34.5	36.7	33.0	38.5	25.7



<参考> 先行き見通し

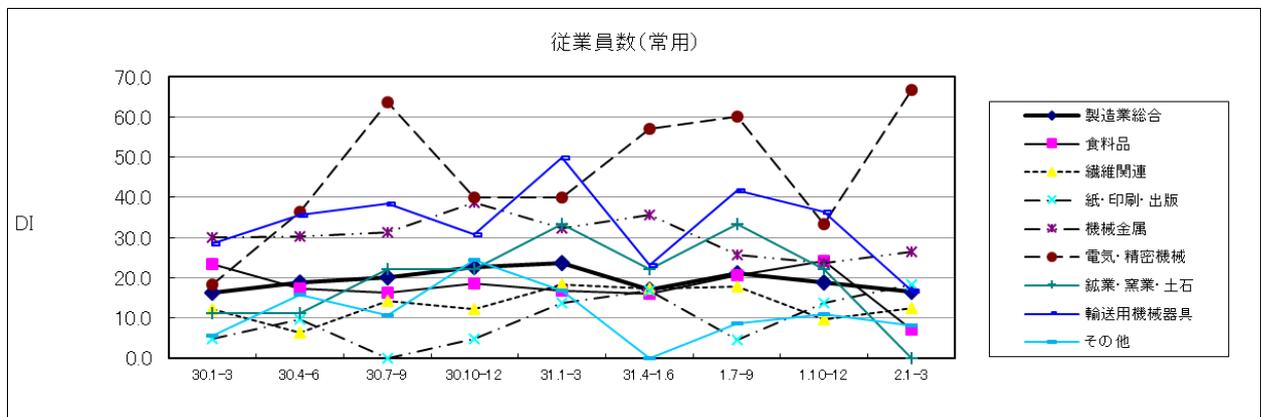
先行き見通し	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6
総合	20.1	13.7	16.6	19.9	18.9	20.3	20.8	22.2	22.9



(2) 製造業の内訳

繊維関連、紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械ではプラス幅が拡大した。しかし、食料品、輸送用機械器具、その他ではプラス幅が縮小、鉱業・窯業・土石ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換した。

従業員数(常用)	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
製造業総合	16.3	18.7	20.0	22.7	23.7	17.0	21.0	18.7	16.4
食料品	23.3	17.2	16.1	18.5	16.7	16.0	20.7	24.1	7.1
繊維関連	12.1	6.3	14.3	12.1	18.2	17.1	17.6	9.7	12.5
紙・印刷・出版	4.8	9.5	0.0	4.8	13.6	16.7	4.5	13.6	18.2
機械金属	30.0	30.3	31.3	38.7	32.4	35.7	25.7	23.5	26.5
電気・精密機械	18.2	36.4	63.6	40.0	40.0	57.1	60.0	33.3	66.7
鉱業・窯業・土石	11.1	11.1	22.2	22.2	33.3	22.2	33.3	22.2	0.0
輸送用機械器具	28.6	35.7	38.5	30.8	50.0	23.1	41.7	36.4	16.7
その他	5.6	15.8	10.5	24.3	16.7	0.0	8.6	10.8	8.1



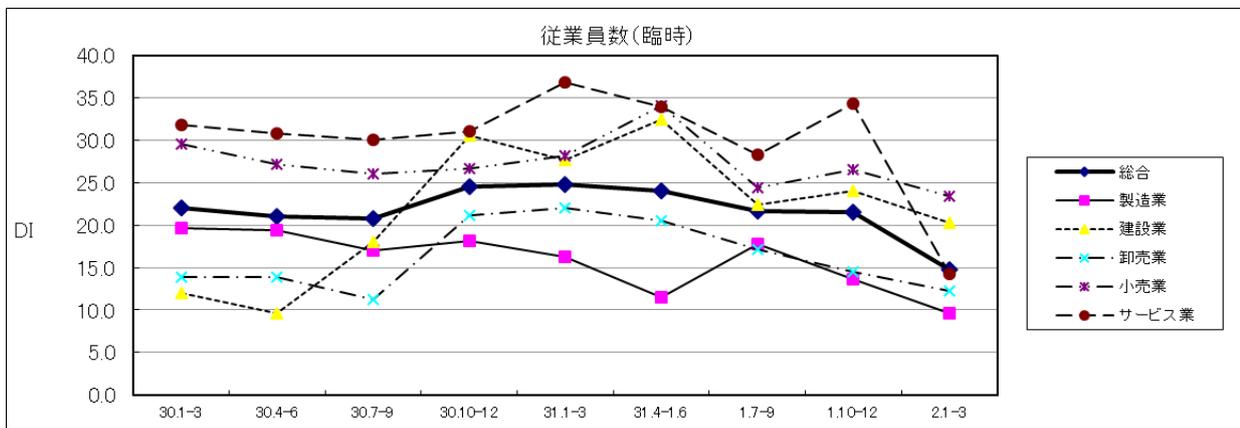
10. 従業員数（臨時）

(1) 全体

総合DI（不足－過剰）は14.7と10～12月期に比べ6.8ポイントプラス幅が縮小した。
業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でプラス幅が縮小した。

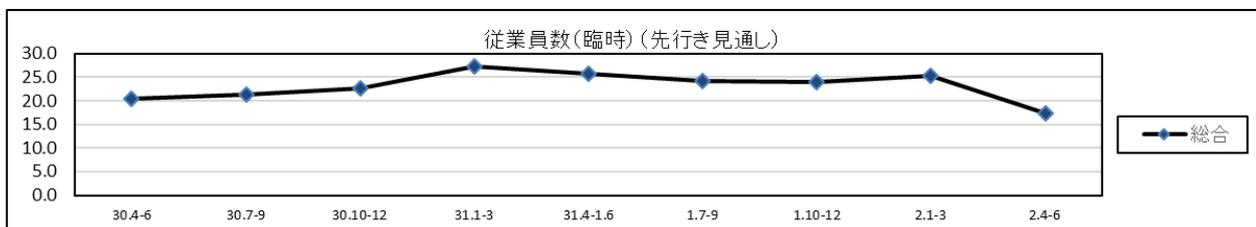
令和2年4～6月期の先行き見通し総合DIは17.3（前回25.4）となり、プラス幅が縮小する見通し。

従業員数(臨時)	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	22.0	21.1	20.7	24.6	24.9	24.1	21.7	21.5	14.7
製造業	19.7	19.4	17.0	18.1	16.2	11.5	17.7	13.6	9.6
建設業	12.0	9.6	18.1	30.6	27.6	32.4	22.4	24.0	20.3
卸売業	13.8	13.8	11.3	21.2	22.1	20.6	17.1	14.5	12.3
小売業	29.5	27.2	26.1	26.7	28.2	34.1	24.4	26.5	23.5
サービス業	31.8	30.8	30.1	31.1	36.9	34.0	28.3	34.3	14.3



<参考> 先行き見通し

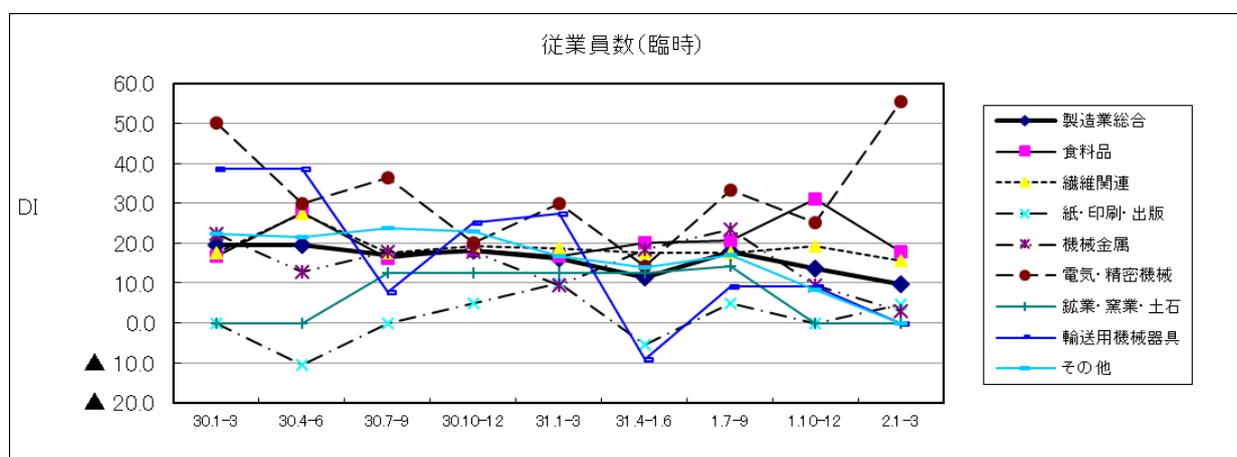
先行き見通し	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6
総合	20.4	21.2	22.6	27.2	25.7	24.3	24.0	25.4	17.3



(2) 製造業の内訳

電気・精密機械ではプラス幅が拡大、紙・印刷・出版ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロで横ばいとなった。しかし、食料品、繊維関連、機械金属ではプラス幅が縮小、輸送用機械器具、その他ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換となった。

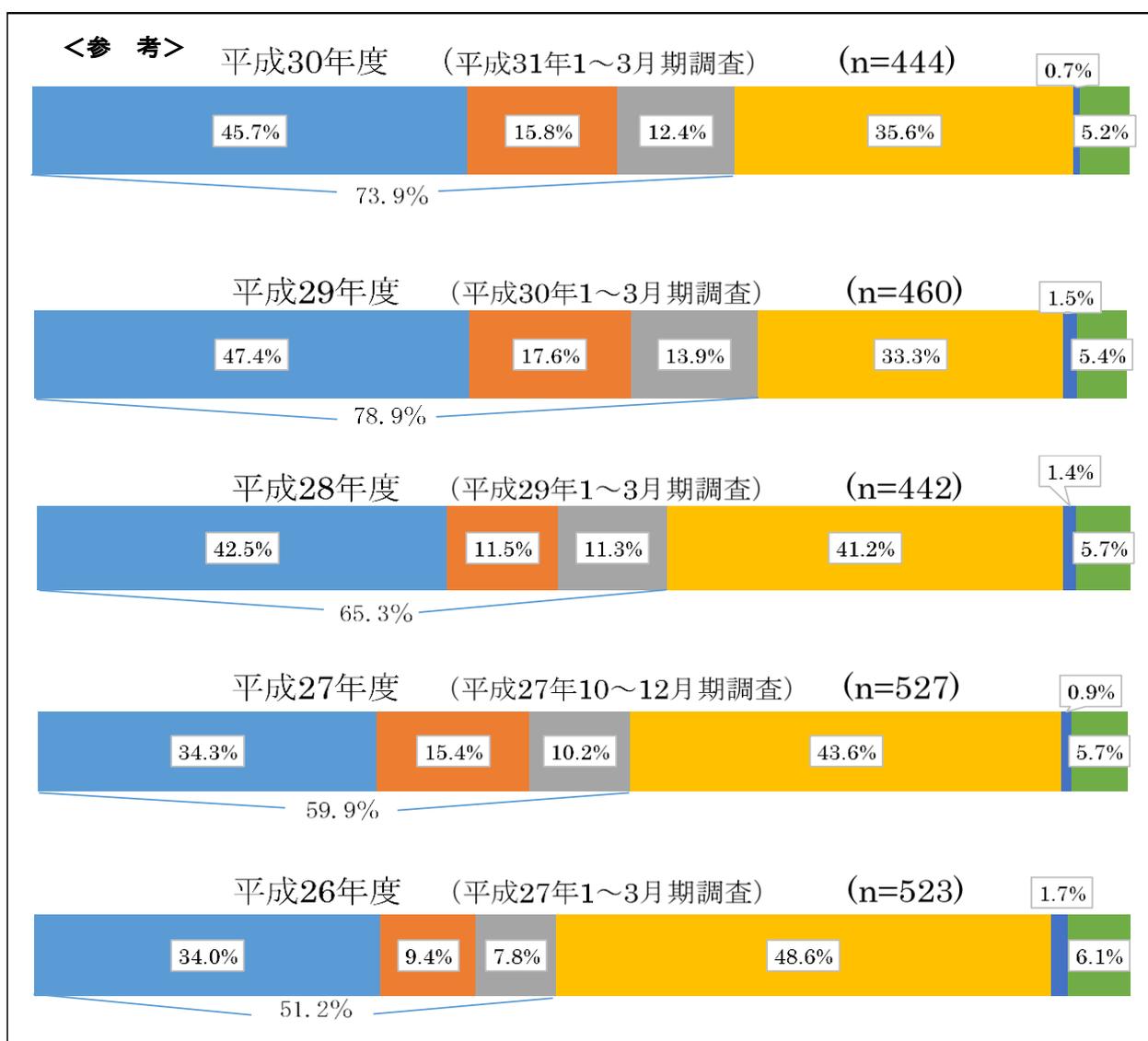
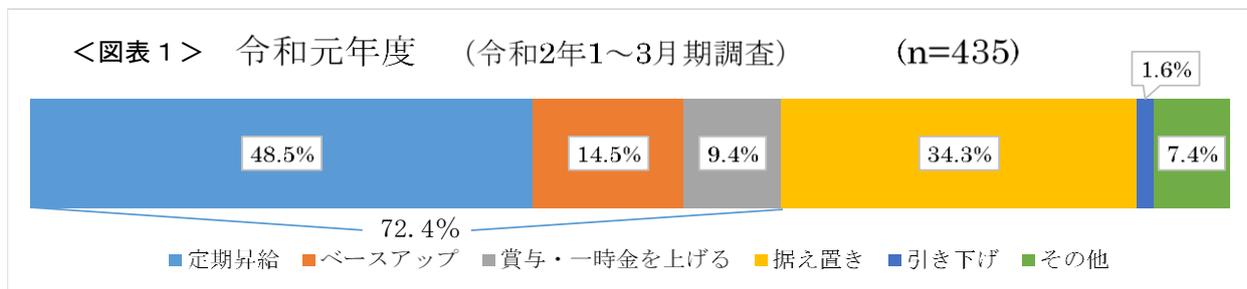
従業員数(臨時)	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
製造業総合	19.7	19.4	17.0	18.1	16.2	11.5	17.7	13.6	9.6
食料品	16.7	27.6	16.1	18.5	16.7	20.0	20.7	31.0	17.9
繊維関連	17.6	27.3	17.6	19.4	18.8	17.6	17.6	19.4	15.6
紙・印刷・出版	0.0	▲ 10.5	0.0	5.0	10.0	▲ 5.6	5.0	0.0	4.8
機械金属	22.2	12.9	17.9	17.9	9.4	18.5	23.3	9.4	3.1
電気・精密機械	50.0	30.0	36.4	20.0	30.0	14.3	33.3	25.0	55.6
鉱業・窯業・土石	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	14.3	0.0	0.0
輸送用機械器具	38.5	38.5	7.7	25.0	27.3	▲ 9.1	9.1	9.1	0.0
その他	22.2	21.6	23.7	22.9	16.7	13.9	17.1	8.3	0.0



◆付帯調査：賃上げの見通しについて

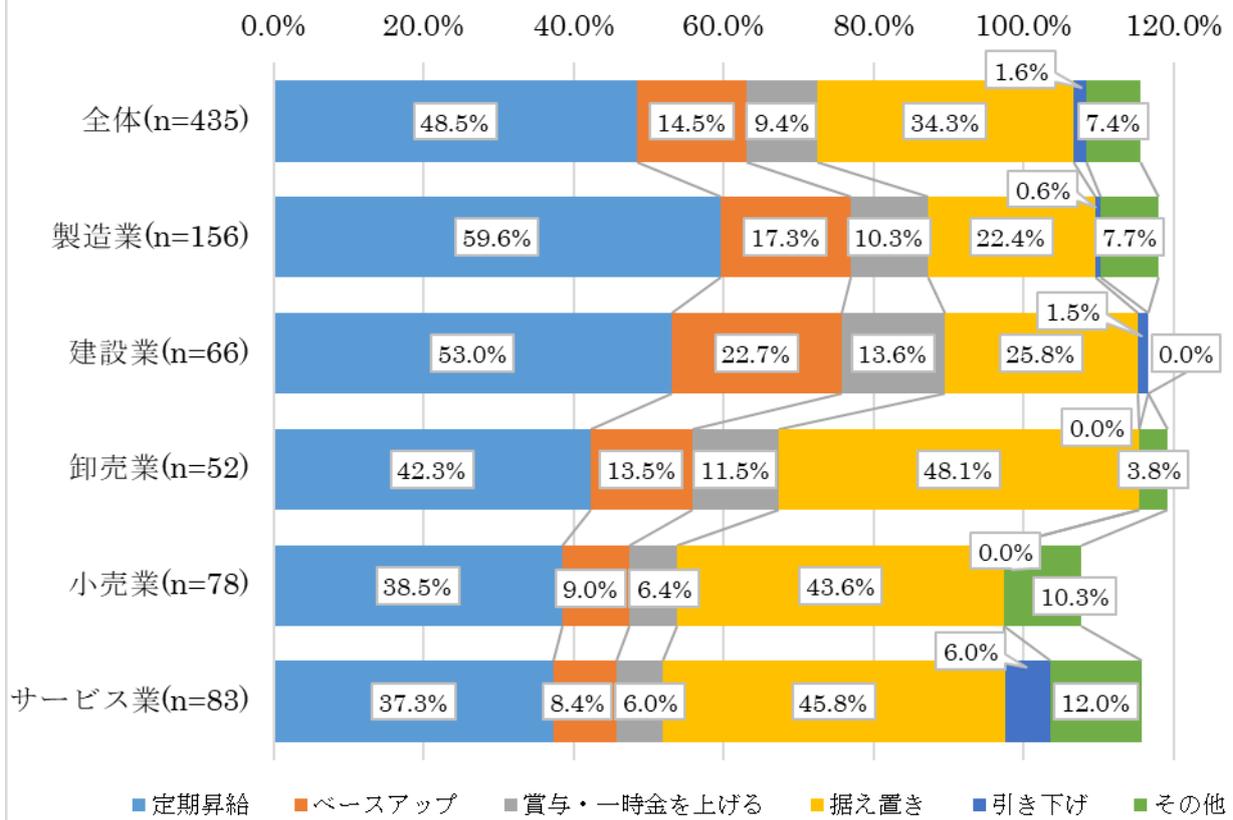
貴社では、来年度、何らかの賃金「引き上げ」を行う予定はありますか。
 当てはまるものを下記から選んでください。(複数回答可)

- 1. 定期昇給 2. ベースアップ 3. 賞与・一時金を上げる
- 4. 据え置き 5. 引き下げ 6. その他



※複数回答のため、表中にラベル表記されるパーセントは回答項目を選んだ人が回答者のうち、何パーセントを占めるかを示している。そのため、各回答項目の比率を合計すると100%を超えることもある。

< 図表 2 > 業種別に見た賃上げの見通しについて (n=435)



※複数回答のため、表中にラベル表記されるパーセントは回答項目を選んだ人が回答者のうち、何パーセントを占めるかを示している。そのため、各回答項目の比率を合計すると100%を超えることもある。

○その他の主な意見

- ・賃金カーブの是正 (岡山・その他製造)
- ・現在検討中 (岡山・その他製造)
- ・初任給の引き上げを検討中 (岡山・卸売業)
- ・賞与・一時金を下げる (岡山・サービス業)
- ・未定 (岡山・サービス業)
- ・予定なし (倉敷・食料品)
- ・先行き不透明なため分からない (倉敷・機械・金属)
- ・未定 (倉敷・機械・金属)
- ・個別評価により決定 (倉敷・その他製造)
- ・決定時点の同業種動向による (高梁・機械・金属)